

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 浜松丸塚 教室

保護者等数(児童数) 16(17) 回収数 16 割合 100

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	2			運動場などはないが、公園に連れて行ってくださったりお散歩やお花の水やりなどで遊ぶ機会を設けてくださっています。	今後も活動内容に合わせて、公園に行ったり、室内では1階・2階を利用したりと、工夫していきたいと思えます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14			2	先生の顔と名前が一致しないので、年度はじめにプリントがインスタなどで先生の紹介があると良いと思えます。	年度はじめに、Instagramやプリントを利用して周知できるよう検討していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13			3	バリアフリー化と言われればそうではないのかも知れません。玄関が平らなことにより、靴の脱ぎ履き時に、つまづかなくて良いと思えます。	個々のマークを利用してわかりやすい環境づくりを行っています。バリアフリー化への配慮はまだ不十分な面もあるため、バリアフリー化に関しては必要に応じて検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	1		1	大人数の子供たちが部屋でのみ過ごす活動よりも外の空気を吸って体を思い切り動かす活動が増えると良いと思えます。	室内にはマットを敷き、怪我防止に努めており、今後も危険が予測される場所や環境を洗い出し、対応できるよう検討していきます。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16				運動会は親も見に行けるようになると嬉しいです。	保護者のニーズを面談や送迎時などで聞ける環境づくりに努めていきます。イベントに関しては、保護者も参加できるようなイベントも考えていきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15			1	本人の行動に合わせた目標設定がされていると感じている。特にできたことに対しての目標の先が明確でわかりやすいです。	提供すべき支援を項目ごとに再分類し、見直し機会を設けられるよう検討していきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15			1	少しずつできることや言葉の語彙が増えています。	今後も終礼で、支援を審議する機会を設け、計画に沿った支援を行えるように努めていきます。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	1		2	まだ通い始める前の見学での説明で、園庭がないので外出で公園に行くことが多い、結構行くと聞き、こぼんに決めました。最近、公園外出が減っているように感じます。	在籍している子の状況にあった活動が行えるように、プログラムを日々検討していきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	4	7	うちの子は大人数や急な環境の変化が苦手なため、もし交流する場合には少人数を希望します。	必要に応じて障害のない子どもと交流できる機会も検討していきます。
保護者 への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15			1	わからないところは質問をすると丁寧に返してくださいました。	契約時に丁寧な説明を心がけています。今後もわかりやすい説明を意識していきます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	14	1	1		文字や数字のトレーニングまでしてもらっているとは思っておらず、感動しました。	送迎時などを使い、計画作成時に支援内容を具体的に説明をしています。今後も直接支援内容を詳しくお伝えできるように努めていきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	9	1	1	5	イベント時など、お声をかけていただいています。運動面でのトレーニング方法を知りたいです。	ペアレントトレーニングを必要に応じて検討していきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15			1	送迎時や連絡ノートなどで情報交換しています。先生方からの報告がとても楽しみです。できるようになったことはもちろん、泣けてしまったことや怒ってしまったことも報告して下さりとても助かります。	今後も送迎時や連絡ノートを通して、日々の様子を伝え、小さな変化でも共有できるように努めていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1		1	年に1回の面談ですが少ないと思えます。半年に1回あると嬉しいです。よりいろいろな職員の方とお話をしたいです。	面談は行っていますが、1年に1度なので、回数を増やして、お話しできる機会を設けていきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	2	4	2	保護者会や親子の活動も少しあるといいなと思えます。父母の会、保護者会がなく助かっています。	保護者会は現在開催していないので、保護者様の意見を聞きながら必要に応じて開催を検討していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14			2	質問の内容に合わせた寄り添った回答をいただいています。特に歯磨きの時は助かりました。	相談や申し入れがあった際には、迅速に対応できるよう今後も体制整備を進めていきます。
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1			重要なお知らせは伝言だけでなく、お電話もいただけて忘れずにできています。	情報伝達を確実にするために連絡ノートやプリント、送迎時だけでなく、必要に応じて電話連絡もして、正確に伝えていきます。	

	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	1	1	Instagramにて定期的に発信されている。	今後もInstagramで活動内容を周知していくとともに、連絡体制の再確認を行っていきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	16			込み入ったお話をする時には、声のトーンや声量、言い回しも気を使ってもらい助かっています。	欄に鍵をかけるなど、個人情報が出ることがないように徹底をしています。今後も個人情報には十分配慮していきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	16			防災訓練が定期的に行われている。	マニュアルを策定し、周知はしていますが、発生を想定した訓練の種類がまだ不十分な面もあるため、どの面でも想定した訓練ができるように訓練内容を検討していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16			防災や訓練が定期的に行われている。	災害の発生に備えて年に最低4回は防災訓練を行っています。防災学習も引き続き行い、防災意識の定着を図っていきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	14	1	1	とても楽しく通所しています。先生とスキニップをとったり、お友達とコミュニケーションが少しずつできるようになり、感謝しています。	今後も通所を楽しみにしてもらえよう、支援の内容や活動内容、雰囲気づくりや環境づくりに努めていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	15	1		先生方の支援に感謝しています。毎日の送迎、支援本当にありがたく思っています。引き続き情報共有をお願いします。	各御家庭のご理解ご協力が日々の支援に繋がっております。今後も事業所全体での支援に努めていきます。
			313	14	12	29	85%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 浜松丸塚教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		パーティーションの利用や一階、二階を使うなど、人数や内容に応じて対応している。	個別のスペース作りのためにパーティーションを増やしたり、トイレの順番を待たりのスペースを考えていきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	5		児童・放デイの職員が協力して、年齢や活動に応じて職員を配置している。	今後も活動内容、人数により、手厚い支援ができるように配置していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		写真や絵カードなど視覚ツールを用いて提示している。場面に応じて机や椅子の配置をかえて刺激を遮断している。	机の角やおもちゃの破損など、常に気を配り、安全な空間づくりに努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1	毎日の清掃や消毒により、清潔に保たれている。	床清掃については掃除機のみではなく、除菌や業者依頼の検討が必要です。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		全体ミーティングや各打ち合わせにより、情報を共有し、効率的に業務遂行できている。	イベントなどの反省や振り返りを強化し、次年度に繋げられるようにしていきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		アンケートを元に改善できることはすぐに話し合っており、日々、保護者の意見に耳を傾けながら対応している。	評価を受けて迅速に対応していく。対面が難しい場合はFacetimeやzoomの活用を検討していきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		アンケートの集計、評価後に課題を拾い出し、今後への活かし方をまとめ、日々の療育に対応させている。	保護者向け評価の結果は手元に反映していくように検討していきます。
適切な支援の提供	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	外部と連携しているが評価はされていない。	今後は評価結果を反映していけるよう改善していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		様々な研修を案内し、できる限り参加している。	研修報告書により、全職員への周知の徹底を進めていきます。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		日々、終礼や担当者会議を通して、情報共有や意見を出し合い、客観的な分析の上、実施している。	保護者のニーズを定期的に確認する必要があります。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	現在は独自のツールを用いている。	標準化されたアセスメントシートを使用していくことを検討していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	2	本人の支援に関しては、長期・短期の目標を設定し、達成できるように支援を進めている。	家族支援や地域支援の再確認が必要です。支援の幅が広げられるように支援内容を設定していきたい。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		個に応じた対応をし、計画に沿った支援が行われている。	計画内容を周知し、日々のミーティングを通して、継続や改善を常に行っていきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		個人で立案し、チームで内容確認をし、進めている。	立案もチーム全体で考えていけるようにします。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		同じ活動が続かないように立案したり、立案者をローテーションすることで多様なプログラムを立案している。	室内での活動が固定化しやすいので、バリエーションを増やしたい。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		個別や集団活動それぞれにおいて、必要な支援が含まれるように作成している。	どちらかに偏ることがないように配慮していきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		打合せでの口頭伝達他、ホワイトボードでの視覚確認も行っている。	欠席対応等にも臨機応変に対応し、情報の周知や徹底に努めます。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		日々の終礼で振り返りをし、日報への記入、読み返して情報共有している。	時間の確保が難しい場合でも、日報の記入や声掛けで周知・徹底していきます。	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		日報や個別記録を日々記入している。	記録をもとに検証を増やしていきます。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	2	定期的ではなく、日々の終礼にて行っている。	定期的なモニタリングも設定していけるよう検討します。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		児発管を中心に支援に携わっている職員が参画している。	今後も児発管を中心に参画し、情報共有をしていきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	電話連絡や書類のやりとり、必要に応じて訪問も行っている。	今後も連携を強化していけるよう連絡を密にとっていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		年1度の園、保育所訪問の他、必要に応じて相互で訪問も行っている。	相互の支援目標も共通理解した上で、支援を進めていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		サポートかけはしシートを活用し、情報共有している。	今後は小学校の情報も共有していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		様々な研修に参加できる体制である。	参加後の報告や、報告書を活用していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5	今現在はそのような活動の機会がない。	今後、必要に応じて交流機会を設けるかを検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2	代表者が参加している。	参加者からの情報共有をしていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		連絡ノートの活用や、送迎時お互いに情報共有している。	足りない分については電話対応だけでなく、面談回数も今後検討していきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	2	ペアレントトレーニング等のプログラムは行っていない。年に1度の講演会を企画している。	保護者支援について検討していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に説明し、質問があればその都度対応している。	今後もわかりやすい説明に努めていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		作成した支援計画を口頭できちんと説明し、同意を得ている。	保護者からの意見、要望も計画に取り入れて、随時支援内容に反映させていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		電話や連絡ノート、送迎時などすぐに対応している。必要に応じて面談も行っている。	面談を増やすなど、保護者の考えや悩みを聞く機会を増やせるよう検討していきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	年1回の保護者参加イベントはあるが、交流とまではいかない。	今後、検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		相談や申入れ内容を職員間で共有し、すぐに対応できるように相談の機会を設けている。	迅速に対応できるようにしていけるようにしていきます。
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		Instagramを活用し、発信している。	内容を精査し、紙面配布が必要であれば今後検討します。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		鍵付きロッカーでの保管やシュレッターを使用して情報が外部に漏れないようにしている。インスタグラムはアカウントを個人に限定している。	情報漏洩に気を付けていきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		視覚ツールの利用や個別により対応している。	日本語理解の難しい外国籍の家庭対応に翻訳アプリやテンプレートを利用していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	招待は行っていないが、ご協力いただいている企業にはお礼に行っている。	どのように地域交流できるか検討したい。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		各マニュアルがいつでもいつでも確認できるようにになっている。防災訓練や防災学習も実施している。	年4回にとどまらず、定期的に訓練することを検討します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		年4回の防災訓練を実施している。	訓練内容を検討し、有事の際に活かせる訓練を行ってきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		服薬は処方箋のコピーを頂いている。状況は1年に1度見直しをし、確認している。	対応方法や知識まで理解していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	医師の指示書には基づいておらず、保護者からの説明に対応している。	医師の指示書をいただけるように改善していきます。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	ヒヤリハットの事例を記入し、事業所で共有している。	定期的に確認し、対応を検討していきます。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		研修に参加している。アンケートへの記入もしている。	マニュアル、研修報告書の記入など、情報共有できる体制を引き続き整えていきます。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		支援計画に記載し、どのような場合に身体拘束を行うのか説明し、了承を得ている。	身体拘束を行わなくても済むよう対応の仕方考える必要があります。	